

静岡県東部地域企業経営動向調査

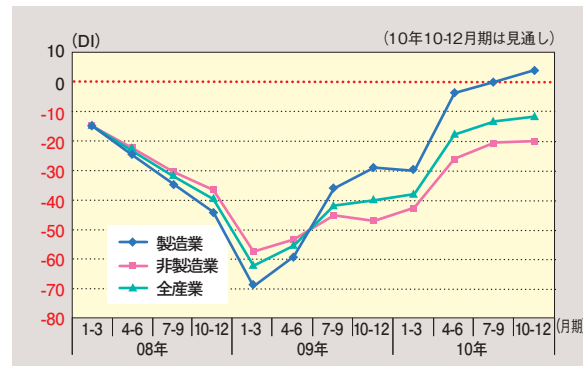
(2010年7-9月期実績、2010年10-12月期見通し)

1 業況概要 (自社)

DIは引続き上昇、製造業はマイナス水準を脱する

静岡県東部地域における2010年7-9月期の業況判断DI(対前年同期比)は全産業で-13.4(前期-17.9)となり、引続き上昇している。うち、製造業の業況判断DIは0.0(同-3.8)となり、2007年7-9月期から続いてきたマイナス水準を3年ぶりに脱した。一方、非製造業でも-20.6(同-26.1)と上昇傾向は続いているが、依然製造業との差がやや目立っている。

2010年10-12月期の予想DIは全産業で-11.8と緩やかながら引続き上昇を見込んでいる。うち、製造業は4.0とプラスに転じ、非製造業では-20.1と上昇幅は鈍化傾向にあるものの今期比上昇を見込んでいる。



業種別天気図



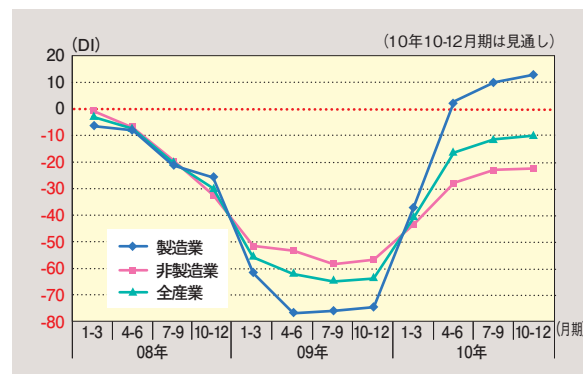
業種	業況好調 ←				業況不振 →			
	製造業	食品	紙・パルプ・紙加工品	一般機械器具	非製造業	卸・小売・サービス業	旅館・その他宿泊所	建設業
2010年4-6月期	☁	☔	☔	☔	☔	☔	☔	☔
2010年7-9月期	☁	☔	☔	☔	☔	☔	☔	☔
2010年10-12月期	☁	☔	☔	☀	☔	☔	☔	☔

2 売上動向

DIは緩やかながら上昇傾向を持続

2010年7-9月期の全産業の売上動向DI(対前年同期比)は-11.5(前期-16.5)となり、前期までのDIの大幅な改善は一段落したものの上昇傾向を持続している。製造業では食品や紙・パルプ・紙加工品などでDIが低下したが、一般機械器具で大幅に改善し、全体DIは10.0(同2.8)に達している。また、非製造業でも旅館・その他宿泊所などでDIが上昇し、全体DIは-23.0(同-27.9)となった。

2010年10-12月期(見通し)の予想DIは、全産業で-10.1、うち製造業12.9、非製造業-22.5といずれも今期比若干の上昇となっており、前期までの急速な改善への期待は弱まったものの、引続き期待感維持されている。

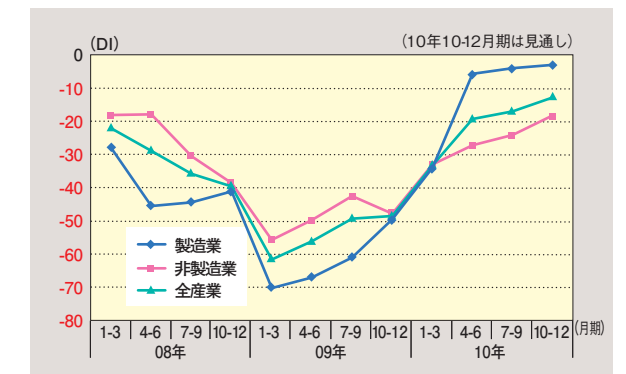


3 利益動向

DIの大幅上昇は一段落も改善傾向は継続

2010年7-9月期の全産業の利益動向DI(対前年同期比)は-17.0(前期-19.3)となり、売上と同様前期までの大幅な改善は一段落したが、引続き改善傾向にある。うち、製造業は食品やパルプ・紙・紙加工品でDIが低下しているが、一般機械器具でDIが大幅に上昇、全体DIは-4.0(同-5.7)となった。一方、非製造業では旅館・その他宿泊所でDIが大きく改善され、建設業でも若干上向いたため、全体DIは-24.1(同-27.2)とやや上昇している。

2010年10-12月期(見通し)の予想DIは、全産業で-12.8と引続き緩やかな上昇を見込んでいる。うち製造業は-3.0、非製造業は-18.2となっており、非製造業で改善への期待がやや強くみられる。



4 経営上の問題点

「原材料・仕入れ商品の値上がり」の比率が低下

3位までの上位項目は前期と変わらないが、「過当競争・製品安」(48.6%)の比率が若干低下している。また、卸・小売・サービス業を中心に「生産・販売能力の不足」(24.8%)の回答比率が上昇し4位となった

ている。一方、前期大幅に比率を上昇させた「原材料・仕入れ商品の値上がり」の指摘は17.9%(前期28.7%)と再び減少し、当面の課題としての重要度は相対的に低下している。

(社、%)

項目	10年1-3月期		10年4-6月期		10年10-12月期		順位変動
	企業数	比率	企業数	比率	企業数	比率	
1. 受注・売上の停滞・減少	214	73.5	197	68.9	198	68.3	→
2. 過当競争・製品安	147	50.5	148	51.7	141	48.6	→
3. 人材の育成	97	33.3	95	33.2	95	32.8	→
4. 生産・販売能力の不足	73	25.1	59	20.6	72	24.8	↑
5. 従業員の高齢化	58	19.9	59	20.6	66	22.8	→
6. 原材料・仕入れ商品の値上がり	42	14.4	82	28.7	52	17.9	↓
7. その他経費の増加	36	12.4	44	15.4	38	13.1	→
7. 人件費の増加	40	13.7	33	11.5	38	13.1	↑

※この他、今回は「夏休み期間中の観光状況」についても特別調査を実施しております。調査結果は弊所ホームページをご参照下さい。

調査の概要

1. 調査目的/静岡県東部地域(富士川以東)の景気動向と先行きを予測し、主要産業の実態を把握
2. 調査対象企業/静岡県東部地域に立地する企業1,050社 回答数290(回答率27.6%)
3. 調査方法/当研究所の指定した項目につき、記名式で実績と見通しを記入するアンケート調査
4. 調査対象期間/実績:2010年7-9月期 見通し:2010年10-12月期
5. 調査時点/2010年8~9月

DI:ディフュージョンインデックス(Diffusion Index)の略。「上昇/増加/好転」した企業割合から「下降/減少/悪化」した企業割合を差し引いたもので、業況判断を見る指標